

適用規格		TÜV, UL				
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +105℃ (通電による温度上昇分を含む)		保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC, DC 600 V (TÜV, UL) AC, DC 888 V		—	—	
	電 流	94 A (22mm ² 電線使用時) 132 A (38mm ² 電線使用時) 175 A (60mm ² 電線使用時)		適合ケーブル	22mm ² (AWG 4) 38mm ² (AWG 2) 60mm ² (AWG 1/0)	
性 能						
	項 目	試 験 方 法		規 格	QT AT	
構造 電 氣 的 性 能	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること	○	○
	表示	目視にて確認する。			○	○
	接触抵抗	単位コネクタを DC 1 A で測定する。		0.1 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。		1000MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 2500 Vの電圧を1分間印加する。 (NECA C 2811)		せん絡・絶縁破壊がないこと	○	—
	短時間耐電流	2640A 1秒で測定する。(22mm ² 電線使用時) 4560A 1秒で測定する。(38mm ² 電線使用時) 7200A 1秒で測定する。(60mm ² 電線使用時) (JIS C 8201)		接触抵抗：0.15 mΩ以下	○	—
機 械 的 性 能	圧着端子の挿抜力	適合コネクタで測定する。		挿入力 280 N 以下 抜去力 250 N 以下	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。		①機能を損なう破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ②接触抵抗：0.15mΩ以下 ③挿入力 280 N 以下 ④抜去力 250 N 以下	○	—
	耐振性 	周波数 10～55Hz、片振幅0.75mmで 3方向 各2時間試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 500 m/s ² 、持続時間 11 ms、 3軸計 6方向 各5回試験する。		①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	端子固定力	結線側より、250N の引き抜き力を加える。 (NECA C 2811)		破壊がないこと。	○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度40±2℃、相対湿度90～95%、96時間放置 常温・常湿の室内に戻して付着した水分を拭き取る。(NECA C 2811)		①絶縁抵抗：20MΩ以上 ②耐電圧：AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐寒及び耐熱試験	-25±3℃に2時間放置後取り出し、常温に1時間 放置する。その後、70±3℃に2時間放置後取り出す。(NECA C 2811)		①絶縁抵抗：20MΩ以上 ②耐電圧：AC2500Vの電圧を1分間印加し、 せん絡・絶縁破壊のないこと。 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	エージング試験	94A (22mm ² 電線使用時)、 132A (38mm ² 電線使用時)、 175A (60mm ² 電線使用時) の電流印加状態で40±3℃に10分間放置後、 30℃まで冷却し、10分間放置する。このサイクルを192回実施する(JIS C 8201)		①接触抵抗：0.15mΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	1	DIS-C-00003876	EK. KIDO	TP. KOMATSU	20200311	
備考 (注1)：上記規格値は、適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示します。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。			承認	TP. KOMATSU	20190222	
			検 図	TP. KOMATSU	20190222	
			担 当	HT. ZENBA	20190222	
			製 図	HT. ZENBA	20190222	
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-119467-00-02		
	製 品 規 格 表		製品名	EF2-D150-1		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL142-0100-0-00	 1/1	